
小学生の絵画教室 ～絵を描きたい子、集まれ！～

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 自由な発想で、自分の描きたい絵を自由に表現し、描画の楽しさを味わう。
- 期 間 令和3年8月7日（土）
- 時 間 午後1時～3時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 16人
- 講師 絵画教室主宰 森 千恵子
- 事業内容 自分の描きたい絵を自由に表現して描画の楽しさを味わう。持参した水彩絵の具の他に色鉛筆やクレヨンも使用して描いてみる。
- まとめ

欠席もなく、全員参加で参加者の熱心さが表われていた。最初に先生のお話を聞き、子どもたちが自分で考える時間を取り、頭の中で描きたいものを思い浮かべたところでそれを画用紙に描いていった。子どもたちは描くことを楽しんでいるようで、2枚仕上げる子どももいた。

出来上がった作品はイーゼルに立て鑑賞し合い、保護者の方もご覧になって感心されている様子だった。講師の穏やかな人柄が伝わって、全体的にゆったりと和やかな良い時間を過ごせたようだ。作品はコミセンで預かり、後日取りに来てもらった。



親子陶芸教室

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 独創的なお皿やカップなど、世界にひとつだけの作品作りを通して陶芸に親しみ、親子の触れ合いの場を設ける。

○期 間 令和3年12月4日(土)

○時 間 午前10時～12時 (計2時間)

○対象・定員 市内の小学生と保護者12組

○参加費 粘土代(1グラム1円)、当日計量し集金

○参加者 14組30人(保護者14人、子ども16人)

○講師 どろんこガーデン主宰 佐原朋子

○事業内容 皿やカップの成形、装飾

○まとめ

12組の定員としたが、一組の人数が少なかったため、14組まで受け入れることができた。当日は、密を避けるために、3階ホールにおいて1家族1テーブルで行った。

最初は講師からどんなものが作れるか(ランプシェード、小どんぶり、どんぶり、大皿、皿、カップ)と簡単な作り方の説明があった。その後、自分が何を作りたいかを決め、材料をもらって制作開始となった。

制作が始まった後は、講師はそれぞれの机を回って指導してくれた。また、先生が干支のトラの置物を作ってきてくださり、自由に模様を描いた。完成後は作品の重さを計り、1グラム1円の計算で粘土代を頂いた。

講師は作品を工房に持ち帰り、1週間くらい乾かしてから素焼きをし、透明の釉薬を付けて本焼きをし、2週間後に持ってきてくださった。

講座は2時間だが、その前の準備と終了後の作業にかなり時間が掛かる。全てを段取りよく進めてくれる講師のお陰で成り立つ講座である。親子で作品を作る有意義な時間を過ごせ、またその作品が良い記念になることと思う。



タイ式ヨガでリフレッシュ

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 ヨガを通して体も気持ちもリフレッシュする。
- 期 間 令和3年5月20日・27日の木曜日 (計2回)
- 時 間 午後1時～2時30分 (計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 18人 参加延べ人数28人
- 講師 師 ルーシーダットン普及協会講師 高橋優子
- 事業内容

	月 日	内 容
1	5月20日(木)	タイ式ヨガの説明と呼吸法
2	5月27日(木)	深い呼吸を意識したレッスンとポーズ

○ま と め

コロナ禍でのヨガ講座ということで、収容人数120人のホールで受講者を18人に絞ったが、当日欠席もあり16人でのスタートとなった。講師は、コロナ後初めての対面での講座ということで、不安もあるようだったため、換気や講師と最前列の受講者との距離を十分にとる、密にならないようにするなど感染予防に気を付けた。

1回目は、タイ式ヨガの説明と呼吸法について、基本のポーズや体のいろいろな部分をしっかり伸ばす運動を行った。2回目は、深い呼吸を意識したレッスンといくつかのポーズを学んだ。参加者からは、非常に気持ち良かった、是非、また実施してほしいなどの声が聞かれた。マスクを着用してのヨガは、先生は大変そうだったが、受講者にとってはそれほど影響がないようだった。



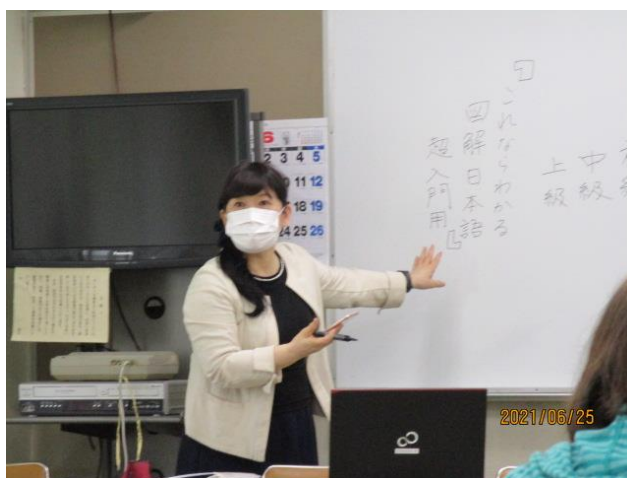
大人のための敬語講座

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 大人を対象に、敬語の使い方を学習する。
- 期 間 令和3年6月11日・25日の金曜日 (計2回)
- 時 間 午後1時～3時 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・14人
- 参加者 14人 参加延べ人数23人
- 講師 日本語検定委員会公認講師 新島尚子
- 事業内容 尊敬語、謙譲語、丁寧語などについて基本を学ぶ。
- まとめ

17人の応募があったが、定員の14人にしぼり、教室をスタートした。敬語は、人間関係の潤滑油であり、相手を尊重し、丁寧に扱うなどの機能があり、敬語を使うことで話し手の誠意が伝わり余計な摩擦や対立を防ぐこともある、という考えの下2回にわたり講義をしていただいた。

1回目は、敬語の種類を、例題を交えながら学んだ。2回目は、主に日本語検定の問題を解説していただきながら解いていった。受講者は、休憩時間や講座終了後も講師へ質問をし、とても熱心に取り組まれていた。



ワインの魅力を知る

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 適量の飲酒は健康につながることを知り、その楽しみ方を学ぶ。
ワインを楽しんで人生を豊かに過ごす参考にする。
- 期 間 令和3年7月2日（金）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 17人
- 講師 ソムリエ協会認定ワインアドバイザー 中尾 豊治
- 事業内容 ワインの特徴・造り方、世界のワイン生産国について学ぶ。
- ま と め

26人の予定だったが、欠席者が多く実際には17人となった。内容は、酒類の定義・分類、ワインの特徴、ワインの造り方、世界のワイン生産国、程よい摂取量などで、クイズを交えながら楽しく話をしてくださった。どうしても、覚えてほしいのは、ボルドー地方の赤ワインのカルベネソービニヨン・メルロー、白ワインのソービニヨンブラン、ブルゴーニュ地方の赤ワイン、ピノノワール、白ワインのシャルドネ・リースリングの6種類とのことだった。

このようなワインの特徴やワインの効能を知ることによって、これからの生活が豊かになるように思われた。



文学講座

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 太宰治の「女性」の収録作品を読み解く。
- 期 間 令和3年8月27日～9月10日の毎週金曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～11時30分（計4.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方30人
- 参加者 24人 参加延べ人数61人
- 講師 大妻女子大学教授 須田 喜代次
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	8月27日（金）	太宰治の「女性」の収録作品を鑑賞し、作者の価値観、時代背景などを含め、作品を検証する。 「待つ」 「葉桜と魔笛」 「誰も知らぬ」
2	9月 3日（金）	
3	9月10日（金）	

○ま と め

数年にわたり、太宰治、芥川龍之介、森鷗外、夏目漱石などの作品を鑑賞し、一昨年度は江戸川乱歩について学んだが、今年度は太宰治の「女性」の収録作品を読むことに決まった。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため文学講座は開催できなかったため、2年振りの開催となった。

講座は、1回目で「待つ」、2回目で「葉桜と魔笛」、3回目で「誰も知らぬ」を学んだ。

これらの作品は、全て女性の一人称小説となっており、男性作家である太宰治が語り手を女性にして、どのようなメッセージを送っていたのかを読んでいた。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、開催時間も2時間から1時間半に短縮して行った。受講者からは時間が短くなって残念だとの意見があった。

楽しい英会話（初級）

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 簡単な英会話を学ぶ。
- 期 間 令和3年11月17日（水）・19日（金）・24日（水）
（計3回）
- 時 間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 14人
- 参加者 15人 参加延べ人数45人
- 保育 1人
- 講師 英会話講師 Frances Gleeson（フランセス・グリーソン）
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月17日（水）	挨拶、自己紹介など
2	11月19日（金）	レストランでの注文の仕方
3	11月24日（水）	道案内の練習

○ま と め

受付開始から順調に申込みがあり、14人の定員に対して、18人の応募があった。キャンセル待ちの方にも、できるだけ参加してほしいとの思いから、部屋の定員の15人とした。保育を付けたところ、1名の申込みがあった。

3日間にわたり、挨拶、レストランでの注文の仕方、道案内などのテーマで学習した。コロナ禍なので、あまり大声を出さないように気を付けながら、ペアでの練習も行った。

講師は度々「大丈夫？」と声を掛けてくださるなど、和やかな雰囲気の中で学ぶことができた。3日間欠席者もなく、熱心に受講され、その後、英会話のサークルに入りたいと希望された方もいらっしゃった。

デッサンと着彩

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 初心者を対象にデッサンと着彩の基本を学ぶ。
- 期 間 令和3年11月25日(木)・26日(金) (計2回)
- 時 間 午後1時～3時(計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人・9人 参加延べ人数19人
- 講師 絵画教室主宰 森 千恵子
- 事業内容

	月 日	内 容
1	11月25日(木)	それぞれが持参したモチーフをデッサンする。
2	11月26日(金)	水彩絵の具や色鉛筆で色を塗る。

○ま と め

応募者がちょうど定員と同じ10人で一人1テーブルを使って実施することができた。

1日目はデッサンで、2日目は水彩絵の具や色鉛筆などで色を塗った。デッサンだけのものと色を付けたものと2枚仕上げた人もいた。

講師は見回りながら、個人的に丁寧にアドバイスしてくれた。最後は、完成した絵を並べ、お互いの作品を鑑賞した。保育を利用された方も子どもと離れ、集中して素晴らしい作品を仕上げていた。



講師の穏やかな指導の下で、受講者全員が有意義な時間を過ごせた様子だった。



人権を考える

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 利用者懇談会の中で人権について学習する。
- 期 間 令和4年1月15日(土)
- 時 間 午前10時30分～午前11時(計0.5時間)
- 対 象 当館利用者団体代表・70人
- 参 加 者 38人
- 事 業 内 容 人権啓発推進ビデオ「シェアしてみたらわかったこと」を視聴し、身近な人権について考える。

○ま と め

利用者懇談会の場を借りて、人権啓発推進DVDを上映した。

今年度は、「シェアしてみたらわかったこと」を視聴した。

この作品は、四つの人権(外国人に関する人権、トランスジェンダーの人権、外から見えにくい障害のある人の人権、災害時の人権)について、シェアハウスに暮らす個性豊かな住人たちとの交流を通して、主人公が戸惑いながらもそれぞれの異なる人達と時間、空間、思いをシェアしながら、個々の人権について気付いていく物語である。

この中で、外国人の人権と災害時の人権を視聴した。

多くの方は、自分は差別をしていないと思っているかもしれないが、「多くの人の普通」は果たして本当の「普通」なのか、無意識の偏見が含まれているのではないかと、深く考えさせられる内容であった。



気象講座

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 天気図の見方や最新の気象情報を理解する。
- 期 間 令和4年1月21日（金）
- 時 間 午後1時30分～3時 （計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 29人
- 講師 熊谷地方気象台気象情報官 入福 敏行
- 事業内容 天気図の見方や最新の気象情報、気象庁のホームページの活用
の仕方などを教えていただく。
- ま と め

この講座は、熊谷地方気象台気象情報官の方の講座だったので、無料で実施することができ、30人の定員に対して、32人の応募があった。内容は、天気図の見方・ナウキャストについて・気象災害・埼玉県における大雨の特徴・大雨災害から身を守るなどで、パワーポイントで丁寧に説明をしていただいた。

気象災害のところでは、新座市のハザードマップについても触れて、命を守るための準備、行動について説明があった。この講座は、他の講座と比べ男性の出席率が高く、全体の約66%だった。

スマホの情報だけではなく、天気図を見て自分で知ることの大切さも再確認した。気象庁のホームページを活用させていただくなどの感想が寄せられた。全員にキキクルという大雨情報・洪水警報の危険度分布の載った冊子を頂いた。



こけ玉教室

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 季節に合った植物を使った癒やしの苔玉づくりを学び、愛着を持って家庭での鑑賞、そして手入れを楽しんでもらう。
- 期 間 令和4年1月27日（木）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 14人
- 講師 グリーンアドバイザー 大島 恵
- 事業内容 盆栽で用いられる「根洗い」という鉢の中に根を隙間なく張らせる手法を応用し、鉢の代わりに苔を巻き付けて作られる苔玉について、作成方法、屋内での鑑賞及びそのための屋外での手入れ方法などを学び、切り花とは異なる自ら作って育てる生きた鑑賞用植物により、生活の中に癒やし感を生ませる。

○ま と め

例年、苔テラニウム、ミニ盆栽等の園芸講座を行っており、苔玉教室としては5年ぶりに実施した。非常に人気の講座のため定員15人の枠にすぐに達し、その後も問合せは続いた。

季節に合った植物を使つての苔玉づくりとして、サクラ、チョウジュバイ、ナンテンが用意され、それぞれの育て方や特徴の説明後に、受講者が自分で作りたい植物を選んだ。一番人気はサクラで、半数以上の方が選んでいた。

材料、道具など必要なものは講師において用意され、土づくりから作業を始め、植物の根に付いた土を取り除き、先に作った土を貼り付け、丸くなるよう形を整えた後に苔を貼り付けて完成となる。一連の作業は、講師が手本として行った後に受講者が行い、講師が見回りながらアドバイスしてくれるためスムーズに作業が進んだ。同じ材料、植物でも苔玉の形状や苔の貼り方で、それぞれ違う苔玉となり各自大変満足している様子であった。

ヨーロッパの古城巡り

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 海外旅行が盛んになった今日、いつかは訪れてみたい憧れのヨーロッパの古城巡りを紹介した。
- 期 間 令和4年2月8日（火）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 26人
- 講師 トラベルライター 大和田 聡子
- 事業内容 イギリス、ドイツ、フランスの中世の城にまつわるエピソードや現地のグルメ情報など、古城の風景を楽しむ旅を提案した。
- まとめ

定着しつつある東北コミセンの旅行講座シリーズの位置付けで、今年度も海外旅行を取り扱う講座を実施した。前回は、今人気のある世界遺産の旅講座の第2弾として、「ギリシア エジプト トルコ古代文明の旅」を企画した。今年度は、ヨーロッパの古城巡りということで、美しい古城の風景とヨーロッパの世界遺産の旅講座を企画した。講師は地球の歩き方の編集者なので、ご自分が編集した「世界のすごい城と宮殿」という本を受講者全員にプレゼントしていただいた。また、新型コロナウイルス感染症による渡航制限についても触れていただいた。

イギリス、ドイツ、フランスの古城を中心に美しい写真を見ながらお話しただいた。25名定員で募集したが、申込みが多かったので30人に増員し、男性受講者も多かった。

異文化理解講座 ～ブラジルを知ろう！～

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のブラジル代表の方々のキャンプの記録やブラジルについて学ぶ
- 期 間 令和4年2月25日（金）
- 時 間 午前10時～11時30分（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人
- 参加者 10人
- 講師 新座市国際交流員 グスタヴォ・ラモス
- 事業内容 オリンピックの際の新座でのキャンプの記録やブラジル観光について話をしていただく。

○ま と め

10人の応募があり、男女比は半々だった。最初にグスタヴォさんの自己紹介があり、続いてオリンピック・パラリンピックの際のホストタウンとしての活動等の紹介があった。また、グスタヴォさんの新座市での仕事の様子も説明された。

後半は、ブラジルを五つの部分に分け、それぞれの歴史、気候、人種、料理、動植物などを詳しく教えていただいた。ブラジルは日本の22.5倍の広さがあるとのことで、地域によって違いが大きく、様々な楽しみ方があるのが分かった。最後は、ブラジルクイズで盛り上がった。

参加者には、ピンバッチのプレゼントがあり、喜んでいただいた。パワーポイントも分かりやすく楽しい講座だった。



おはなし会

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 年間を通して子ども、幼児向けのおはなし会、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行い、心豊かな楽しいひとときを共に過ごす。
- 期 間 令和3年4月7日～令和4年3月30日の水曜日（計48回）
- 時 間 午後3時30分～午後4時（計24.5時間）
※ クリスマス会は午後3時30分～午後5時
- 対象・定員 幼児（保護者同伴）～小学生
- 参加者 5組 参加延べ人数446人 ※クリスマス会は14組
- 講師 のびっ子おはなし隊（第1週）、にいざまめの会（第2週）、ぽけっと（第3、5週）、おはなしモモ（第4週）

○事業内容

月	日	内 容
4	7日・14日・21日・28日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他
5	5日・12日・19日・26日	絵本の読み聞かせ、手遊び他
6	9日・23日	ワクチン予約支援のため3回中止
7	7日・14日・21日・28日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他
8	4日・11日・18日・25日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他
9	1日・8日・15日・22日・29日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他
10	6日・13日・20日	27日は選挙のため中止
11	3日・10日・17日・24日	絵本の読み聞かせ、手遊び他
12	1日・8日・15日 22日はクリスマス会	絵本の読み聞かせ、紙芝居他 クリスマス会
1	5日・12日・19日・26日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他
2	2日・9日・16日・23日	絵本の読み聞かせ、手遊び他
3	2日・9日・16日・23日・30日	絵本の読み聞かせ、紙芝居他

○ま と め

にいざほっとぷらざの閉館後、年間を通して子ども、幼児向けのおはなし会を開催したいとの希望があり、東北コミセンで引き継ぎ実施することとなった。何回か打合せを行いつつ、12月には4グループが一堂に会し、クリスマス会を盛大に実施することができた。



外国人のための日本語教室

< 東北コミュニティセンター >

○開設の趣旨 日本語を母国語としない人を対象に、日本語の学習と地域社会の生活の円滑化を支援する。

○期 間 令和3年4月1日～令和4年3月27日の毎週日曜日
計20回

○時 間 午後3時30分～5時30分（計40時間）

○対象・定員 日本語を母国語としない外国人・30人

○参加者 97人 参加延べ人数97人

○事業内容 日本語の学習、指導及び生活の円滑化について参加者へ支援を行う。

○ま と め

平成20年度から新座日本語の会と共催で始め、今年度で14年目となる。入門レベルの受講生がほとんどで、日本語のみならず、日本の文化についての紹介もしている。本市及び近隣地域において、今では日本語を学ぶのに不可欠な教室となっている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、本格的に再開したのは10月からだったため、例年に比べ開催回数や参加人数は減少した。



暮らしを楽しむヒント ～生活を見直す家事と家計のヒント～

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 ゆとりをもって生活するヒントをもらって、個々の生活にいかしてもらう機会とする。
- 期 間 令和3年7月8日(木)
- 時 間 午前10時～正午 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人
- 参加者 9人
- 講師 婦人之友友の会 齊藤 千賀子
- 事業内容 「家庭は簡素に、社会は豊かに」の理念のもと、衣・食・住家計などの暮らしのことを学習するという婦人之友友の会の方に話をしてもらう。ゆとりをもって生活するヒントをもらって、個々の生活にいかしてもらう機会とする。

○ま と め

25人の定員だったが、打合せの段階で、グループに分かれて話をしたいとの申出があったため、人数を制限して実施することとした。内容は、「プラごみを減らすために家庭でできること」「朝の家事をスムーズに」「寝る前の家のチェック」「家計簿をつけましょう」「コロナ禍の家計管理」で、8人の友の会メンバーが分担して話をしてくださった。

途中、新聞紙を使ったごみ袋の作り方の実習もあり、ビニール袋やレジ袋を使わずに済ませることができるかと好評だった。



日本文化への扉としてのマンガ・アニメ

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 日本マンガ・アニメといったネオジャポニズムのもつ豊かな可能性について理解する。
- 期 間 令和3年10月5日(火)
- 時 間 午前10時～11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 15人
- 講師 東洋大学教授 紀 葉子
- 事業内容 日本マンガ・アニメを入り口として日本文化に関心を持つ海外の若者が少なくない。こうしたネオジャポニズムの可能性について解説を受ける。

○ま と め

30人の定員に対し、コロナ禍のためか、なかなか参加者が集まらなかったが、最終的には15人で実施した。

講座では、日本アニメが世界に及ぼす影響について語られ、受講者からも大変好評だった。「日本のマンガという文化がもたらす社会への様々な影響について講義していただき、マンガに対する認識が変わり、深い学びができました」との感想があった。



楽しいリトミック

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 未就学児と保護者に、音楽に合わせて、楽しく遊ぶ機会を提供する。

○期 間 令和4年1月13日（木）

○時 間 午後10時～正午（計2時間）

○対象・定員 1歳から未就園児と保護者の方

○参加者 14組 28人

○講師 リトミック講師 久田 三佳

○事業内容 親子でコミュニケーションを取りながら、音楽に合わせて、楽しく遊ぶ。



○ま と め

14組の定員に対し、15組の応募があった。キャンセルがあったため、最終的に14組で講座を実施した。対象年齢は、1歳から未就園児としたが、実際には1歳2か月から3歳2か月までの幼児が集まり、やっと歩くくらいから、元気に走り回る子供もおり、運動能力にもかなり開きがあったため、講師の先生は苦労されていたようだった。ただ、更に年齢を区切ってしまうと、人数が集まらない懸念がある。

内容は、先生の工夫が随所に見られ、体を動かすだけではなく、パネルシアターでお話を聞く場面も設定して下さった。また、密にならないよう配慮するとともに、フラフープやハンドベルなどの消毒もしっかりして下さっていた。



1時間を過ぎた頃には、保護者の方にも子どもたちにも大分疲れが見え、充実した時間を過ごすことができたようだった。

イキイキ実年学級

～お一人様になっても困らないために～

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう、地域の高齢者の仲間づくりを後押しする。
- 期 間 令和3年6月18日（金）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 家事研究家 佐光 紀子
- 事業内容 将来一人暮らしをすることになったとき困らない生活の仕方を考える。

○まとめ

毎年人気のある高齢者学級だが、参加者全員が女性であった。お一人様になっても困らないために、どのように配偶者に家事を渡しておけばよいか講義いただいた。講師は「やりすぎない家事」を提唱し、主婦から絶大な支持を得ている家事研究家で、完璧な家事を目指して頑張ってしまう「家事のしすぎ」についてお話された。

著書に「家事のしすぎが日本を滅ぼす」や「家事の8割は捨てていい」などがあり、夫婦で家族の暮らしを見直す大切さを考えさせられた。

また、将来認知症になったときのために、任意後見人制度を考えておくといいということであった。

受講者には、家事を見直すきっかけになったと思う。

イキイキ実年学級 ～野火止用水遊歩道の秋の野草講座～

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう、地域の高齢者の仲間づくりを後押しする。
- 期 間 令和3年10月27日(水)
- 時 間 午前9時30分～正午 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 新座市観光ボランティアガイド協会
- 事業内容 【散策コース】東北コミセン→野火止緑道→鐘の音ファーム農業体験塾→水道タンク→野火止八雲神社→野火止用水公園

○まとめ

毎年度人気のある高齢者学級。今年度はコロナ禍により館外学習が実施できないため、市内散策の講座を企画した。コミセン講座は毎回男性の参加が少ないが、今回は6人が参加された。講師は新座の歴史や文化、自然等のガイドで活躍されている新座市観光ボランティアガイド協会にお願いした。講師の皆さんは何回も観察経路の下見を行い、安全面や開催時期に見られる野草や樹木について丁寧に調査していただいた。新型コロナウイルス感染症の感染が収束しない中での実施だったので、参加者には当日はマスク着用と検温をお願いした。

当日は、5人ずつ3班に分かれ各班に講師が2人付き、樹木や草花の名前の見分け方などをクイズ形式で楽しく学ぶことができた。

参加された皆さんは、散策を楽しんでいただいたようだった。

シニア向けはじめてのスマートフォン～防災を学ぶ～

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨 近年、スマートフォンの普及が目覚ましいが、使い方が分からない人も多い。その傾向はシニア世代に著しい。今年度は、スマートフォンの基礎知識を教える講座を開設する。シニア世代を対象にスマートフォンがどのようなものであるかを知ってもらい、今後利用するかを判断する機会を提供する。
- 期 間 令和4年2月15日（火）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤で、スマートフォンをこれから利用予定の60歳以上の方・20人
- 参加者 8人
- 講師 KDDI（株）認定講師
- 事業内容 これからスマートフォンを利用しようとするシニア世代に基本操作を伝授し、スマートフォンがどのようなものかを理解してもらう。

○ ま と め

毎年、スマートフォンの購入を検討している人を対象にしたコースの講座を実施している。今年度は、災害対策アプリにより「災害伝言板」の体験ができるコースを依頼した。人気講座で、すぐに定員に達していたが、今年度は防災対策を学ぶ講座のためか応募者が少なかった。

KDDI（株）の社会貢献事業で、講師を派遣していただき、スマートフォンの機種を貸し出していただいた。

今年度は、70代から80代までの方が申込みをされた。写真の撮り方や動画の撮り方、メールの打ち方など丁寧に教わった。音声での文字入力など、熱心に教わっていた。新座市のハザードマップも配布し、災害対策アプリについても学んだ。携帯電話をお持ちの方がほとんどで、スマートフォンに乗り換えるかを検討しているようだった。